

全鉄連流通動態調査結果表 2021年11月分

(2021. 12. 22)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		10月実績	前月比	11月実績	前月比	11月実績	前月比	11月実績	前月比	
異 形 棒 鋼	東京	5,755	99.6%	38,030	94.1%	38,101	94.3%	5,684	98.8%	
	大阪	2,613	106.9%	16,539	92.5%	16,793	94.8%	2,359	90.3%	
	愛知	3,853	89.8%	3,711	123.4%	3,587	104.2%	3,977	103.2%	
	計	12,221	97.7%	58,280	95.1%	58,481	95.0%	12,020	98.4%	
形 鋼	山 形 鋼	東京	17,741	99.3%	8,397	101.4%	8,313	98.9%	17,825	100.5%
		大阪	21,398	98.8%	9,636	114.3%	8,862	101.9%	22,172	103.6%
		愛知	7,215	91.7%	4,759	110.7%	4,208	85.0%	7,766	107.6%
		計	46,354	97.8%	22,792	108.5%	21,383	96.9%	47,763	103.0%
	溝 形 鋼	東京	14,375	105.1%	6,512	90.8%	6,322	97.7%	14,565	101.3%
		大阪	12,118	110.5%	7,624	108.3%	6,104	103.6%	13,638	112.5%
		愛知	4,744	81.5%	4,347	147.1%	3,355	83.2%	5,736	120.9%
		計	31,237	102.5%	18,483	107.7%	15,781	96.3%	33,939	108.6%
	H 形 鋼	東京	31,177	104.5%	17,593	98.4%	16,824	101.8%	31,946	102.5%
		大阪	45,246	103.1%	25,363	94.0%	25,362	98.9%	45,247	100.0%
		愛知	10,798	92.2%	12,410	125.9%	9,469	87.8%	13,739	127.2%
		計	87,221	102.1%	55,366	101.2%	51,655	97.6%	90,932	104.3%
合 計		164,812	100.9%	96,641	104.0%	88,819	97.2%	172,634	104.7%	
コ ラ ム	東京	7,021	97.0%	2,486	102.1%	2,605	98.3%	6,902	98.3%	
	大阪	10,310	116.1%	5,637	130.2%	3,440	118.7%	12,507	121.3%	
	愛知	1,384	99.4%	1,364	109.0%	1,244	98.8%	1,504	108.7%	
	計	18,715	106.9%	9,487	118.4%	7,289	107.0%	20,913	111.7%	
軽 量 C 形 鋼	東京	3,436	99.9%	1,648	91.5%	1,708	94.6%	3,376	98.3%	
	大阪	3,319	113.9%	1,577	78.2%	1,780	110.6%	3,116	93.9%	
	愛知	2,643	92.2%	1,473	142.7%	1,293	102.9%	2,823	106.8%	
	計	9,398	101.9%	4,698	96.9%	4,781	102.3%	9,315	99.1%	
総 計		205,146	101.3%	169,106	101.2%	159,370	96.9%	214,882	104.7%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪19 愛知13 合計62社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。